

令和7年度厚木市議会友好都市交流訪問団（糸満市）報告書【概要版】

1 訪問期間 令和8年2月20日（金）～21日（土）

2 訪問先 沖縄県糸満市

3 訪問団 7人

団長 瀧口慎太郎議長

団員 松田則康 議員、川口 仁 議員、井上 武 議員、
高橋 豊 議員、高村真和 議員

事務局 高橋幸雄 議会事務局長

4 目的

平成30年8月4日に友好都市を締結した糸満市に、厚木市議会を代表し訪問し、議会間交流をはじめとする友好親善を図る。

5 訪問日程

2月20日（金）（1日目）

7時00分 厚木市役所 出発

10時30分 羽田空港（発） JAL913 便

13時30分 那覇空港（着）

14時10分 昼食

15時15分 ひめゆり平和祈念資料館（ひめゆりの塔）

16時15分 シャボン玉石けん くくる糸満

16時30分 糸満市議会議長表敬訪問

17時20分 ホテルグランビュウガーデン沖縄

18時10分 厚木市・糸満市・都農町交流会

2月21日（土）（2日目）

9時40分 ホテル出発

10時00分 産業まつりオープニング参加、会場視察、出展者激励

11時20分 西崎運動公園

12時00分 道の駅いとまん 昼食

13時00分 道の駅散策

15時15分 那覇空港（発） JAL988 便

17時30分 羽田空港（着）

19時00分 厚木市役所 到着

6 視察等概要

2月20日(金) 第1日目

(1) 糸満市議会への表敬訪問

糸満市役所を訪問し、糸満市議会の徳元議長、金城副議長、伊集議会事務局長にお迎えをいただいた。

その中で、厚木市と糸満市の両市は、平成30年8月4日に友好都市を締結したことを踏まえ、議員間の交流を積極的に行うことで、両市行政間、市民間の交流の更なる促進を側面から支援していくことを確認した。

また、徳元議長からは、訪問に対するお礼とともに、糸満市の文化に触れることにより両市の交流がより深まる機会となることを期待したいとの話、また、沖縄には川魚がいないため、厚木市のアユの塩焼きについても市民は非常に関心が高いので、厚木市と交流することは良いPRになるとの話をいただいた。

(2) ひめゆり平和祈念資料館（ひめゆりの塔）視察

ひめゆり平和祈念資料館は1989年6月23日沖縄戦の体験と平和の尊さを伝えるため、ひめゆり同窓会によって設立された。証言映像や当時の写真、壕の実物大模型などを通して、ひめゆり学徒隊が体験した沖縄戦の実相を伝えている。

ひめゆりの塔は、ひめゆり学徒隊の最後の地の一つである伊原第三外科壕の上に建てられた慰霊碑。同壕は沖縄陸軍病院第三外科勤務の職員やひめゆり学徒隊が南部撤退後に避難した壕で、1945年6月19日朝、米軍の攻撃により、多くの生徒や教師が亡くなった。

ひめゆり学徒の戦争体験を通して、戦争の悲惨さや平和の尊さを見つめ直すことができた。壁中に貼られていた戦没した生徒の写真を見たときは言葉にならなかった。平和を祈り捧げたい。

(3) シャボン玉石けん くくる糸満視察

糸満市は海をはじめグスクや戦跡など沖縄をイメージさせる風景の集約された地域であり、市内各地域には長い歴史、豊かな文化を物語る名所旧跡、伝統行事や芸能など、有形・無形の文化資源がある。

糸満市観光文化交流拠点施設である、くくる糸満は、こうした魅力を情報として発信し、さまざまな体験や交流を図る場として、観光客の誘客や地域文化の発展を目的とする施設である。

施設内の大ホール、講演会等が開催できる多目的室ホール、企画展示室、交流ロビーなどがある。

平和を願う心、文化を大切にする願いが感じ取れる拠点施設だった。

(3) 交流会への参加

糸満市主催の歓迎会に出席。糸満市からは當銘市長、徳元議長をはじめ、市、市議会、商工会、観光協会関係者など27人、糸満市の姉妹都市である

宮崎県都農町からは坂田町長、都農町議会の勝目議長、商工会、観光協会関係者など 22 人、交流都市である山形県南陽市からは商工会関係者 3 人、厚木市から山口市長、瀧口議長を始め市議会議員、まつり出店関係者等 14 人の計 66 人が出席。主催者の挨拶に続き、来賓挨拶や催し物の披露が行われた。糸満市のほか、都農町、南陽市の関係者と、意見交換等を行い、友好親善を図ることができた。

2月21日（土）第2日目

(1) 糸満市産業まつり視察（西崎親水公園）

今年度から糸満フェア（例年 1 月末開催）を改め、事業公募型プロポーザルにより開催された糸満市の産業まつりを視察した。市内の事業所や地場産品を市内外に P R し、賑わいを創出することにより域内経済の循環を目的とされている。

(2) 西崎運動公園視察

千葉ロッテマリーンズが今年から 2 次春季キャンプとして開催している西崎運動公園内に屋内練習場及びブルペンが設置されたことから、キャンプ中にも関わらず当銘市長自らご案内いただいた。

同施設は、令和 6 年 9 月に本体工事に着手し、13 カ月の工期を経て令和 7 年 10 月に工事を完了。ブルペン 5 レーンやボルダリング機能を有しているほか、キッズパークとしても活用されている。

今回のキャンプ誘致により、大変多くのキャンプ観覧者、観光客が来訪されることから経済界からも大変喜ばれているとのこと。

(3) 道の駅いとまん

「道の駅いとまん」は、全国の道の駅ランキングで上位にランクインするほどの道の駅で沖縄県最大級の農産物販売所や漁協の直営店が並んでいる。観光客や家族連れの方々に、会場は大変な賑わいであった。

7 まとめ

今回の訪問は、交流会による意見交換や糸満市産業まつりの会場で糸満市、都農町（糸満市の姉妹都市）、南陽市（糸満市と経済交流都市）と親しく交流の場がもてました。

特に、交流会の場では、糸満市議会の徳元議長、金城副議長から盛大な歓迎を受けました。

糸満市産業まつりの会場では、厚木市観光協会と連携したアユの塩焼きの店舗が出店され、本市食の P R も行われており、観光客や家族連れの方々が楽しみながら大変に賑わっていて、糸満らしさが感じ取れ工夫されているまつりと感じました。

また、2 日間の日程の中で、市内施設の視察を行ったことにより糸満市の歴史、伝統や文化に触れることができ、また、千葉ロッテマリーンズの春季

キャンプの誘致の成功した西崎野球場、新たに整備した室内練習場、ブルペンを當銘市長自らご案内いただきました。

今後も友好交流を進めていくことが大切であると確認できました。

これから、お互いの市が共に発展し、市民が交流できる末永い友情を育めるようさらに努力していくべきと感じ、本議会として大変有意義な訪問となりました。